

まえがき

本研究資料は、当研究所が実施している行政対応特別研究「農村集落の変容過程と地域社会・資源の維持に関する研究」（平成 17 ～ 18 年度）の成果の一部として刊行するものである。この研究は、①農業集落の基本構造や機能・活動状況を動態的に把握し、農業集落の変容が地域社会や地域資源の保全管理に及ぼしている影響を統計的に検証することを目的とした定量的な分析、②農業集落の広域再編に取り組む先進事例を調査・分析し、農業集落の持つ共同体的機能を失うことなく、かつ地域資源の維持管理が可能となる集落再編手法の解明を目的とした定性的な分析の二つからなり、過疎化・高齢化の併進によって深刻な農村社会問題となりつつある、農業集落の維持・再編に係る施策の企画・立案に資することを課題としている。

平成 17 年度においては、主に①の課題を中心に取り組み、1990 年および 2000 年農業センサス農業集落調査の各種組替集計・抽出集計、さらには兩年の農業集落のマッチングによって作成した農業集落構造動態統計表を用い、既存の農業集落統計からは明らかにすることができなかった農業集落構造の変化や、地域資源管理等とのかかわりについて統計分析を試みた。本分析結果の一部は、すでに平成 17 年度農業白書（食料・農業・農村の動向）の中で、農村構造の分析素材としても活用されている。

また、先般実施された 2005 年農業センサスにおいては、標本調査ではあるが農業集落を対象とした「農村集落調査」が実施されており、その中では農業分野における共同活動の詳細な実態が新たに把握されている。本資料は、これら調査結果とも照らし合わせて農業集落問題を検討することができるよう、研究の中間段階ではあるが、統計分析の部分だけを単独の研究資料としてとりまとめ、刊行することとした。したがって、巻末には分析に用いた主要な統計表（組替集計結果等）を数多く掲載してあるので、これらデータも併せ活用頂きたい。

最後になるが、本分析の基礎データについては、大臣官房統計部センサス統計室から提供頂き、集計・分析は当研究所において行った。また、分析にあたっては大臣官房情報課情報分析室を始め、各方面の方々から数多くの貴重なご意見を頂いた。記して感謝申し上げたい。

平成 18 年 7 月

農林水産政策研究所
集落・資源研究チーム